



てき丸君News 第42号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

http://www.zensanpairen.or.jp

「第16回産業廃棄物と環境を考える全国大会」11月17日に高知市で開催 労働災害防止計画の普及を目的に安全衛生標語の表彰も

当連合会、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター、公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団の3団体が主催する「第16回産業廃棄物と環境を考える全国大会」を11月17日に高知市で開催します。

詳細については、当連合会ホームページ（<http://www.zensanpairen.or.jp/taikai16/index.html>）に掲載しています。皆様のご来場をお待ちしております。

<開催趣旨>

循環型社会の形成や低炭素社会の実現を図るため、産業廃棄物処理業界は近年、廃棄物の適正処理によって培った技術・経験を活かしつつ、新たに廃棄物から資源・エネルギーを創り出す事業に取り組む事業者が増加するようになりました。

今後この資源循環の流れを太く確実なものとするためには、必要な法制度による手当のみならず、本業界における従業員の労働安全及び人材の確保といった、多角的な視点からの業界振興方策の立案が必要になっています。

そこで今回の全国大会は「産業廃棄物処理業の振興方策」を大きなテーマに掲げ、環境省の「産業廃棄物処理業の振興方策に関する検討会」の座長を務められた慶応大学経済学部教授の細田先生による基調講演のほか、全国産業廃棄物連合会が策定した「労働災害防止計画」の紹介及び講演・事例発表、同計画の普及を目的に募集した「安全衛生標語」の表彰も行います。

<開催概要>

(1)日時 平成29年11月17日（金）13：30～17：30

(2)会場 三翠園

〒780-0862 高知県高知市鷹匠町1-3-35

TEL 088-822-0131（代）

(3)開催次第・行事内容

○開会式

○環境大臣表彰受賞式典

○基調講演

「産業廃棄物処理業の振興方策について」（仮題）

講師：細田 衛士 氏（慶応義塾大学経済学部教授）

○産業廃棄物処理業界における安全衛生

・公益社団法人全国産業廃棄物連合会 労働災害防止計画について

・労働安全衛生標語 表彰

・講演 「産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について」（仮題）

・事例発表 「労働災害防止対策の取組」

労働安全衛生標語を募集

当連合会では、平成29年度を初年度とする「労働災害防止計画」をスタートいたしました。

当連合会「労働災害防止計画」を3年間推進するための「労働安全衛生標語（スローガン）」を募集し、優秀な作品を表彰します。

安全衛生委員長賞及び優秀賞は「第16回産業廃棄物と環境を考える全国大会」で表彰状と副賞（クオカード）を授与します。

詳細は以下の連合会HPを参照ください。

<http://www.zensanpairen.or.jp/taikai16/slogan.html>

多数の応募、お待ちしております！

（調査部 日浦）

官公庁関係ニュース

【環境省】

◇平成30年度予算概算要求・重点施策等について

<http://www.env.go.jp/guide/budget/index.html>

委員会・部会便り

●建設廃棄物部会運営委員会●

平成29年度第1回建設廃棄物部会を8月29日に開催しました。

議題は「①産業廃棄物埋立処分委託契約書標準様式（案）」、「②廃石膏ボードの特定建設資材への指定」、「③モデル事業の進捗状況」、「④分科会活動報告」でした。分科会活動報告では、「産業廃棄物処理業者チェックリストの改訂」、「建設汚泥リサイクル製品評価のための自主基準の検討状況」、「東京都の再生砕石品質認証」について各分科会座長から報告がありました。 (調査部・戒能)

●中間処理部会運営委員会●

平成29年度第1回中間処理部会運営委員会を8月30日に開催しました。本会では、「産業廃棄物埋立処分委託契約書標準様式（案）」「小型家電リサイクル法」「POPs廃棄物」「パーゼル法政省令改正」を議題として意見交換を行いました。

小型家電リサイクル法については、平成30年度からの制度見直しに向けた意見書の内容が確定し、環境省宛てに提出することとなりました。 (調査部：福田)

●INDUST 9月号特集「地方産廃行政のいま」●

産業廃棄物の適正処理は、地方の行政組織と処理企業の連携が要です。環境省が推し進めるPCB廃棄物や災害廃棄物の処理体制の整備では、地方環境事務所の役割が大きいです。

そもそも、地域ごとに特色のある大多数の産廃処理では、所管する都道府県・政令市が示す方針、条例、要綱等が、処理事業そのもののさきゆきを左右します。

地方の独自規制の過重や、その複雑化など、法理学的な課題も指摘される一方、地方担当官の指導やフォローに対応することが処理企業の基本的業務の一つであり、地域循環圏の形成の進展などと併せ、地方行政と処理企業の連携強化は、今後も変わらないテーマであり続けるでしょう。産業廃棄物処理の最前線で、いま、地方産廃行政はどのような状況にあるのでしょうか。 (事業部・東方)

- 主な行事予定 - (9月13日～10月31日)

【9月】

13日 最終処分部会運営委員会

20日 産業廃棄物処理業務研修会

中間処理業務（東京）

青年部協議会幹事会

21日 安全衛生委員会

28日 能力アップセミナー（～29日 現業）

【10月】

3日 建設汚リサイクル製品評価のための自主基準WG

産業廃棄物処理業務研修会

最終処分業務（静岡）

4日 処分場早期安定化分科会

5日 能力アップセミナー（～6日 営業）

6日 産業廃棄物処理業務研修会

収集運搬業務（新潟）

11日 第36回理事会

12日 最終処分場維持管理技術研修会

（～13日 福岡）

16日 能力アップセミナー（～17日 現業）

17日 産業廃棄物処理業務研修会

収集運搬業務（岡山）

20日 産業廃棄物処理業務研修会

最終処分業務（札幌）

産業廃棄物処理実務者研修会（熊本）

26日 産業廃棄物処理業務研修会

中間処理業務（神戸）

31日 産業廃棄物処理業務研修会

収集運搬業務（熊本）

平成29年度産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース 一学ぼう産廃 あなたの知識の再確認

「改正廃棄物処理法」(6月16日公布)も紹介します!

※本研修会は、継続学習制度(CPDS)の講習会
(一般社団法人全国土木施工管理技士連合会)に認定されています。

1. 目的

この研修会は、産業廃棄物を取り扱う方々の実務に必要な委託契約、マニフェスト(産業廃棄物管理票)、帳簿等の産業廃棄物の幅広い基礎知識を学び、初心者から経験者まで、多くの方々に知識の習得、再認識をしていただくことを目的としております。

産業廃棄物処理の実務を行ううえで、排出事業者も処理業者もやらなければならないこと、知らなければならないことは、たくさんあります。実務を学んで産業廃棄物処理の適正処理を進めましょう!

2. 受講対象者：排出事業者及び処理業者における産業廃棄物を取り扱う実務担当者

3. 開催期日

	開催地	開催期日	会場名	定員
1	熊本県	平成29年10月20日(金)	メルパルク熊本	120
2	群馬県	平成29年11月8日(水)	前橋問屋センター	150
3	石川県	平成29年11月21日(火)	石川県地場産業振興センター	100
4	京都府	平成30年1月18日(木)	京都テルサ	150
5	高知県	平成30年1月24日(水)	高知会館	150
6	東京都	平成30年2月6日(火)	ベルサール西新宿	150
7	滋賀県	平成30年2月16日(金)	ピアザ淡海	150
8	香川県	平成30年2月21日(水)	ホテルマリパレスさぬき	150
9	岐阜県	平成30年3月2日(金)	OKBふれあい会館	120

4. 研修内容(受付は午前9:30からです。)

10:00	12:00	12:50	13:10	14:30	16:00	16:30
産業廃棄物処理の基礎	昼休み	質疑応答	産業廃棄物の委託 処理と委託契約	産業廃棄物管 理票・帳簿	質疑応答・ 修了証の交付	

5. 受講料(テキスト代含む)：7,200円(税込)

6. 受講申込・問合せ先

受講を希望される方は、(公社)全国産業廃棄物連合会のHP(<http://www.zensanpairen.or.jp>)からのインターネット申込み又は受講申込書を下記問い合わせ先より入手いただきFAXにてお申込下さい。

なお、各会場は、定員になり次第、締め切らせて頂きます。

<問合せ先> (公社)全国産業廃棄物連合会 事業部

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2ABビル4F

TEL 03-3224-0811 <http://www.zensanpairen.or.jp>

7. 実施機関 (公社)全国産業廃棄物連合会 協力機関

(公社)群馬県環境資源創生協会、(一社)東京都産業廃棄物協会、(一社)石川県産業廃棄物協会、
(一社)岐阜県産業環境保全協会、(一社)滋賀県産業廃棄物協会、(公社)京都府産業廃棄物協会、
(一社)香川県産業廃棄物協会、(一社)高知県産業廃棄物協会、(一社)熊本県産業資源循環協会

環境省後援「産業廃棄物処理能力テスト」及び「産業廃棄物処理検定」のご案内

当連合会では、処理事業者だけでなく排出事業者も含め、産業廃棄物処理に携わる方を対象とした能力テストと検定試験を今後実施いたしますので、是非ご参加ください。

I. 産業廃棄物処理能力テスト (受験募集期間：9月4日～9月29日)

昨年度に引き続き、インターネット環境を利用して、産業廃棄物処理に係る能力測定やスキルアップのツールとして活用できる全国統一のテストです。テスト期間内であれば、途中で中断も可能です。いつでも、自分のペースで受験ができます。

ご参加をお待ちしております。

- (1) テスト期間：平成29年11月1日(水)～20日(月)
- (2) テスト科目：本テストは、次の4コースがあります。お一人で複数コース受験も可能です。

講座名	科目名	問題数
収集運搬現場業務コース	法令基礎、収集運搬業務 (2科目)	全30問
中間処理現場業務コース	法令基礎、中間処理業務 (2科目)	全30問
最終処分現場業務コース	法令基礎、最終処分業務 (2科目)	全30問
委託事務業務コース	法令基礎、業務管理 (2科目)	全30問

- (3) 受験料 1コース 3,240円(税込、通信費等は利用者負担)
詳しくは、<http://www.zensanpairen.or.jp/disposal/08/noryokutest.pdf> をご覧ください。

II. 産業廃棄物処理検定(廃棄物処理法) (受験募集期間：12月18日～1月19日) 全国5会場で同時開催です。

キャリアアップを考えている方に必須の試験です。

この検定で合格された方には、合格証明書カードを交付させていただきます。

- (1) 試験日時 平成30年2月18日(日) 10:00～11:30(90分間)
- (2) 試験形態 筆記試験
- (3) 試験範囲 廃棄物の品目、排出事業者責任、委託契約、マニフェスト管理、処理基準委託基準等に関する法令の基礎
- (4) 試験会場

A	東京会場 (定員：200名)	TKP赤坂駅カンファレンスセンター 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館	—
B	神奈川会場 (定員：120名)	(学)岩崎学園 横浜西口2号館 横浜市神奈川区鶴屋町2-17	共催：公益社団法人神奈川県産業資源循環協会
C	新潟会場 (定員：100名)	新潟県建設会館 新潟市中央区新光町7-5	共催：一般社団法人新潟県産業廃棄物協会
D	長野会場 (定員：100名)	長野バスターミナル会館 長野市中御所岡田178-2	共催：一般社団法人長野県資源循環保全協会
E	熊本会場 (定員：120名)	ユースピア熊本 熊本市水前寺 3-17-15	共催：一般社団法人熊本県産業資源循環協会

- (5) 受験料 7,020円(税込)
詳しくは、<http://www.zensanpairen.or.jp/disposal/08/shorikentei.pdf> をご覧ください。